

令和4年4月25日
玉野市教育委員会

玉野市立学校適正規模化計画策定スケジュール（案）について

1. 学校規模の現状

本市の児童・生徒数は、昭和57年度の11,575人から令和2年度では3,563人と、およそ40年間で1/3以下にまで減少している。

一方で、小中学校の数はピーク時の23校（分校含む）から2校減の21校という水準を維持しており、住民基本台帳を基にした推計によると、今後20年間のうちに小学校14校中9校で複式化、中学校7校中5校で1学年1学級化することが想定される。

2. 玉野市立学校将来計画

学校教育では、児童・生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ、切磋琢磨しながら、資質、能力を伸ばしていくことが重要であり、そのためには一定数以上の児童・生徒が在籍する学校規模の確保が必要である。

本市では、前項に示したような現状を踏まえ、複式学級の解消を図りつつ、今後の教育環境の変化等も考慮しながら、教育活動のより一層の活性化を目指した「玉野市立学校将来計画」の策定を目指している。

3. 玉野市立学校適正規模化計画

「玉野市立学校将来計画」の基礎と位置づける。

令和4年4月に策定した玉野市立学校適正規模化計画（草案）は、児童生徒数の将来推計や統合時の通学距離、統合に伴う諸経費や維持管理費の増減等、今後の個別具体的な議論の基礎となるデータや考え方を取りまとめたものである。

4. 玉野市立学校適正規模化計画 策定スケジュール（想定：詳細は別添資料参照）

令和4年 7月 検討委員会設置・諮問
草案の地域説明会、アンケート実施
令和5年 8月 答申
令和5年12月 （案）策定
令和6年 1月 パブリックコメント
令和6年 3月 計画策定

玉野市立学校適正規模化計画 策定スケジュール（案）

■①②③ 検討委員会メンバー選定

・R4年6月定例会で公募結果等を報告

	立場	人選方法
1	学識経験者	① 岡山大学に依頼
2	小学校長	② 校長会、園長会に依頼 (会長の充て職とはせず、令和5年度末まで在任 できることが望ましい)
3	中学校長	
4	幼稚園長	
5	保育園長	
6	宇野中学校区 保護者代表	② PTAに依頼 (同上)
7	玉 中学校区 保護者代表	
8	日比中学校区 保護者代表	
9	山田中学校区 保護者代表	
10	荘内中学校区 保護者代表	
11	八浜中学校区 保護者代表	
12	東児中学校区 保護者代表	② 協働推進課に依頼 (同上)
13	コミュニティ協議会代表	
14	公募	③ 広報たまの5月号に募集広告掲載予定 (5月末締切、6月中旬までに選考)
15	公募	

■④ 検討委員会会議

		想定期日	内 容
令和4年度	1	7月上旬	諮問、課題共有
	2	11月下旬	アンケート結果報告、地域説明会を受けて意見交換
	3	2月中下旬	
令和5年度	4	4月中下旬	
	5	5月中下旬	
	6	6月下旬	答申(案)審議 答申案は事前配布
	7	7月中下旬	答申(案)審議
	8	8月中下旬	答申

■⑤ 地域説明会

- ・中学校区ごとに各1回開催（7月中旬以降、1回/週ペース、盆・議会中を除く）
- ・会場は中学校体育館を想定
- ・来場者を対象にアンケート実施

■⑥ アンケート

- ・対象：小中学生（4年生以上）、教職員、保護者、地域住民
- ・子ども用、教職員用、保護者・地域住民用の3パターン
- ・R4年12月定例会で結果報告

		想定対象者数	実施方法	実施時期
1	小学生	1,100	Google form のアンケート機能 (要研究)	9月中の1週間程度
2	中学生	1,200		
3	教職員	500	紙ベース 小中学校の、非常勤や用務員も含めた全ての教職員	7月中旬配布 9月末締切 (説明会の期間)
4	保護者	4,400	紙ベース 幼保小中の保護者に、学校・園経由で用紙配布、回収	
5	地域住民	700	説明会参加者に配布 その他、公民館に用紙設置	説明会開催時 公民館は教職員や保護者と同じ

計 7,900